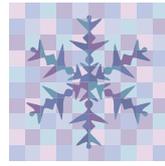


# 冬のはじまり



11月7日は立冬・・・一日一日寒さが増していくこの時期、冬にちなんだ本を集めてみました。暖かくしてゆっくりと本を読む時間を作ってみませんか。

**冬のデナリ** 西前 四朗／著 福音館書店 【295ニ】

真冬のアラスカ。5ヶ国から集まった8人の男たちがデナリ峰をめざすという実際にあった物語。そこでの過酷な体験や冒険は、私たちに素晴らしい感動を与えてくれることでしょう！

**冬のけもの道** 宮崎 学／作 理論社 【748ミ】

動物と『けもの道』の写真集。『けもの道』とは、動物たちの歩く道である。カメラを通して、私たちの知らないところで活動している動物との出会いが・・・この本をきっかけに自然に目を向けてみてはいかがでしょうか。

**クレスカ 15歳 冬の終りに** マウコジャタ・ムシェロヴィチ／作 田村 和子 訳  
岩波書店 【989ム】

戒厳令下のポーランド。激動する社会で将来の希望を見失うまいとする若者たち。15歳のクレスカをとりまく人間模様を描いた作品。

**理由あって冬に出る** 似鳥 鶏／著 東京創元社 【BFニタド】

某市立高校の芸術棟には、フルートを吹く幽霊が出るらしい。にわか高校生探偵団が解明した幽霊騒ぎの真相とは？  
第16回鮎川哲也賞に佳作入選したコミカルなミステリ。

<絵本>



**花の妖精たち 冬** シシリー・メアリー・バーカー／作 ほるぷ出版 【Eバーカ】

「花の妖精」たちのシリーズは、1923年に「春」が刊行されて以来、世界中の人々に愛されてきました。繊細な水彩の世界～「冬」の他に「木」「秋」「道ばた」を所蔵しています。